

第一次佐久市総合計画後期基本計画「目標」の進行状況(まとめ)

資料 5

<色別表示の見方>

■: 目標の推移が「順調」  
■: 目標の推移が「概ね順調」

■: 目標への進行状況が「やや遅れている」  
■: 目標への進行状況が「遅れている」

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						結果の分析	今後の方針	備考	特記事項
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成24年度実績値(参考)	平成25年度						
								目安値	実績値	評価				
1	111	文化・芸術	貸し館系施設の利用件数	件/年	8,705 [H22]	9,500	9,889	9,023	10,916	順調	芸術文化への関心の高まりや高齢者等の余暇利用から、貸館の利用件数が増えていると考えられる。	利用者の利便性を考え、利用しやすい親しまれる施設運営をしていくとともに、利用する人を支援する施策を検討していく。	目標達成	利用件数が大きく減少している施設に絞ったり、傾向分析を行ったりして、計画的に増加策に取り組んでいただきたい。
2	観覧系施設の延べ入館者数		人/年	38,844 [H22]	40,000	35,802	39,306	35,802	遅れている	各施設とも、企画を考えて実施し入館者増を図っているが、入館者数は変化していないことから、減少傾向は継続していると考えられる。	展示・展覧会の企画に力を入れていくとともに、講演会やワークショップなどの講座を引き続き開催し、入場者の増加に取り組む。		施設ごとに傾向分析を行い、施設ごとに必要な入館者数の増加策を中長期の計画により推進していただきたい。	
3	少年考古学教室参加者数		人/年	67 [H22]	80	78	72	87	順調	教室の内容を発掘調査体験から作業体験に変更し、参加者が増加した。	少年考古学教室を継続するとともに、児童生徒が参加しやすい時期に開催することや、文化財への関心を高めるための内容などを検討し、「順調」の評価を維持することを目指す。	目標達成	今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。	
4	112	地域間交流・国際交流	国際交流フェスティバル延べ参加者数	人/年	2,800 [H22]	3,500	2,750	3,080	2,500	遅れている	ポスター、チラシにより広報に努めたが、参加者は目標値を下回った。	民間団体が主体となって開催できるイベントについては、民間団体への移行を図る。		中学生の参加は教育面でも有効なことから、多く中学生が参加できるよう各中学校との連携により自主的な参加が促進できるよう進めて欲しい。また、AETの先生を活用するなどにより、参加者数の増加を図って欲しい。
5	国際交流サロン延べ参加者数		人/年	319 [H22]	400	309	351	328	やや遅れている	事業を企画するボランティア団体からのサロン開催希望が減ったことにより、開催回数が減少し、参加者数は目標値を下回った。	国際交流サロンは、外国籍市民と日本国籍市民の交流の場として事業を継続するが、事業の企画、運営をはじめ事務局についても民間団体への移行を検討していく。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。	
6	空き家バンク掲載物件の契約成立件数		件/年	39 [H22]	50	47	43	59	順調	佐久市空き家バンクの周知が図られていることが契約実績に結び付いている。	利活用可能な空き家の掘り起こしにより、引き続き空き家バンクの充実を図る。	目標達成	今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。	

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						結果の分析	今後の方針	備考	特記事項
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成24年度実績値(参考)	平成25年度						
								目安値	実績値	評価				
7	113	人権尊重社会	人権教育・啓発事業などの延べ参加者数	人/年	8,105 [H22]	8,500	11,033	8,263	10,135	順調	新たに福祉施設や新任・転入教職員への研修会、また、区に対して学習会について積極的な呼びかけを行ったことで、目標の成果が得られた。	人権同和教育講座や各区への学習会、また、学校・企業での研修会を開催し、市民一人ひとりの人権意識の高揚を図っていく。	目標達成	今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。
8			隣保館活動などの延べ参加者数	人/年	5,227 [H22]	5,300	6,025	5,256	6,073	順調	身近な内容の事業であったことと、広く市民に情報提供をしたため、目標の成果が得られた。	地域の実態やニーズに合わせた身近な内容等を取り入れた事業を引き続き実施し、地域住民との交流を促進していく。	目標達成	今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。
9	114	男女共同参画社会	審議会などにおける女性委員の登用率	%	18.1 [H22]	25.0	19.7	21	20.5	概ね順調	各課へ呼び掛けてきたことにより、女性委員の登用が微増ではあるが上がってきている。	機会あるごとに各課への呼びかけ協力を仰ぐとともに、一般公募の中に率先して手を挙げていけるような、女性の人材育成を図っていく。		登用率の向上のため、さらなる努力を期待する。
10	122	学校教育	小学校不登校児童の割合	%	0.36 [H22]	0.32	0.51	0.34	0.60	遅れている	家庭環境がより複雑になり、昼夜逆転等で生活リズムが乱れている児童が増加してきているため。	児童相談所や子育て支援課等、関係機関との連携を密にし、児童の家庭環境の大きな変化をいち早くつかみ、適切な対応をしていく。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。
11			中学校不登校生徒の割合	%	3.24 [H22]	2.74	3.35	3.04	3.46	遅れている	関係機関との連携をより深める努力をしたところ、不登校生徒の数は減少したが、目標値には及ばなかった。	日々の欠席状況の把握や生徒との教育相談の機会を定期的に設けることなどに重点を置き、不登校状況を未然に防ぐための努力をしていく。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。
12	123	高校教育・高等教育	奨学金制度利用者数	人/年	32 [H22]	40	21	35	49	順調	制度の周知が進み利用者は順調に推移している。	制度のPRとあわせ、他の制度や、他の自治体の制度と比較検討し、本制度が、さらに活用されるよう、改善していく。	目標達成	今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。
13	124	青少年の健全育成	各地区の育成活動への延べ参加者数	人/年	183,139 [H22]	184,000	167,007	183,483	146,429	遅れている	年々児童数の減少が大きくH22年度とH25年度を比較すると、児童数は365人減少し、育成会活動への参加延べ人数は36,710人減少となっている。今後も児童数の減少は続くと考えられるので、目標値への達成は難しいと思われる。このような中で、育成会活動や地域体験活動を更に推進するためには、育成会活動の取組に対するアドバイスや他地区との合同開催の提案等による支援が必要である。	各地区の育成会活動への支援として、個々の取組内容に対するアドバイスや他地区との合同開催の提案等を推進する。		市で各地区の育成を支援していただきたい。

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						結果の分析	今後の方針	備考	特記事項
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成24年度実績値(参考)	平成25年度		評価				
								目安値	実績値					
14	131	生涯学習	生涯学習市民のつどいなどのイベント延べ参加者数	人/年	31,394 [H22]	32,000	29,371	31,636	37,380	順調	参加者数については、イベント数の増減および天候により変動するが、25年度は目標値を超えることができた。	生涯学習の機会に関わる情報の提供は、手法、場所等について工夫を重ねて行く。	目標達成	今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。
15	公民館事業別延べ参加者数		人/年	37,106 [H22]	38,000	33,978	37,464	25,733	遅れている	台風接近による「コーラスまつり」の中止や、2月の大雪により「公民館のつどい」が中止になったことから大幅な減となった。	引き続き、公民館事業参加者の獲得に向け、事業内容の見直しや、事前のPRを実施していく。		台風や大雪などの特殊事情による参加者の減少も分かるが、今後は地域の皆さんのニーズに答えるような講座やイベントの開催などで工夫してもらい、特色を出してほしい。	
16	図書などの貸出し冊数		冊/年	531,901 [H22]	600,000	567,453	559,141	534,284	遅れている	前年度に比べ開館日数が5日少なかったこと(2月の大雪による臨時休館2日含む)や、大雪により、開館中でも来館者が激減した日が2週間ほど続いたこと。またシステム更新作業のため、貸出しを行えない期間が10日間あったことなどにより、貸出し冊数が伸びなかった。	平成26年度から始まる読書通帳事業や、望月の読書に心地よい椅子コンテスト等により利用者拡大のための工夫を図る。		台風や大雪などの特殊事情による参加者の減少も分かるが、今後は地域の皆さんのニーズに答えるような講座やイベントの開催などで工夫してもらい、特色を出してほしい。	
17	132	スポーツ	スポーツ教室延べ参加者数	人/年	4,225 [H22]	5,000	4,328	4,535	3,046	遅れている	参加者不足により中止となった教室が5教室あったため、昨年より少ない結果となった。	市民ニーズを把握し、教室の内容を検討するとともに、指導者の発掘・育成をしていく。		今後の努力に期待したい。
18	スポーツ大会延べ参加者数		人/年	15,912 [H22]	17,500	13,453	16,547	13,644	遅れている	悪天候により、1大会が中止となったが、1大会が新たに加わった事により昨年とほぼ同じ結果となった。	参加チームや参加者の減少している大会は、競技団体と今後のあり方を検討する。		今後の努力に期待したい。	
19	体育施設延べ利用者数		人/年	631,300 [H22]	700,000	635,910	658,780	686,948	順調	平成25年4月に佐久総合運動公園陸上競技場がオープンしたことや、平成23年度に改修を行った臼田テニスコートの利用者が年々増加していることによる。	体育施設の効率的・効果的な管理運営について指定管理者制度の導入を検討する。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。	

第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移							結果の分析	今後の方針	備考	特記事項
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成24年度実績値(参考)	平成25年度			実績値なし				
								目安値	実績値	評価					
20	211	高速交通ネットワーク	長野新幹線の延伸(長野-金沢間の開業)		未開業 [H22]	開業	26年度開業予定		26年度開業予定	実績値なし	金沢までの延伸開業が平成27年3月と決定した。列車名についても「あさま」の名前が残った。	北陸新幹線の佐久平駅停車本数確保に向けて関係機関へ働きかけて行くとともに、敦賀までの速やかな着工と金沢-大阪間の早期全線開通を目指し関係団体と協力していく。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。	
21			中部横断自動車道佐久南インターチェンジ-八千穂インターチェンジ(仮称)間の開通		未開通 [H22]	開通	28年度以降の開通		28年度以降の開通	実績値なし	本区間について、平成26年4月に国土交通省より平成29年度に開通と公表された。	29年度開通に向けて、道水路整備事業、中部横断自動車道調整事業を進捗させる。併せて、県施行の県道上小田切白田停車場線アクセス道の整備促進していく。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。	
22			中部横断自動車道八千穂インターチェンジ(仮称)から長坂ジャンクション(仮称)間の整備計画格上げ		基本計画区間 [H22]	整備計画区間	未定		未定	実績値なし	計画段階評価が行われルート帯案が決定。今後の対応方針案がまとまり、次に整備区間への格上げの段階。	今後は、環境アセスの実施、整備区間格上げに向けて要望活動を行っていく。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。	
23	212	地域交通ネットワーク	幹線道路整備延長	m	4,731 [H22]	8,231	6,127	6,131	7,440	順調	事業用地取得などが順調であったため、目安値以上の進捗となった。	財源確保、コスト縮減に努め整備延長を確保する。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。	
24			都市計画道路整備延長	m	59,527 [H22]	63,377	64,845	61,067	66,400	順調	中部横断自動車道の整備が進んだことにより、目標値を大幅に上回った。	すでに目標値を達成したが、引き続き、今後も整備に努める。	目標達成	都市計画道路のうち長年指定されたまま未着手となっている路線についても、今後の対応を検討してほしい。	
25			アダプトシステム管理箇所数	箇所	3 [H22]	19	16	9	17	順調	新規供用路線を中心に、積極的に事業への参加を提案しており、実績に結びついている。	アダプトシステム事業を周知し、大勢の市民の方々に参加していただくように普及を推進していく。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。	
26			公共交通延べ利用者数	人/年	113,538 [H22]	125,000	108,768	118,123	103,595	遅れている	商業施設への停留所の新設、バリアフリーバスを導入して間がないため、その効果は未だ顕著でないと認められる。	公共交通乗車体験イベントの開催、利用者のニーズを反映した路線変更等により、利用者の確保に努める。		より多くの市民が車利用から公共交通機関の利用に転換を図り、より効率的な交通体系を構築できるよう、研究を進めていただきたい。	
27	221	土地利用	宅地面積	ha	2,337 [H21]	2,492	2,378	2,399	2,386	概ね順調	幹線道路及び都市計画道路の整備の進捗に伴い、沿線農地の転用等により、宅地面積が増加した。	雇用増加や定住者増加を目指し、適地において工業用地、商業用地などの宅地化の推進を図る。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。	
28	222	市街地	跡部白田線・龍岡城駅線の整備率	%	0.4 [H22]	100	32	40	46.18	順調	事業費全体に占める用地補償費の事業割合が高く、地権者との契約率が高かったため目安値以上の結果となった。	事業完了にむけて、今後も事業を進めていく。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。	

第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						結果の分析	今後の方針	備考	特記事項
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成24年度実績値(参考)	平成25年度						
								目安値	実績値	評価				
29	223	住宅・宅地	住宅マスタープランの策定		未策定[H22]	策定	未策定	部分的策定	部分的策定	やや遅れている	平成26年3月に公営住宅整備計画と位置付ける中で、佐久市公営住宅長寿命化計画を策定した。	今年度予定されている公共施設マネジメント基本方針における公共施設再配置計画(仮称)、平成29年度に策定される第2次総合計画、また、今年度から始まった県の長寿命化計画の見直し状況等を勘案しながら、平成32年度以降の長寿命化計画の見直しを踏まえ、策定期、内容について考える。		住宅施策の推進については、市内に見られる空き家との関連で総合的に進めていただきたい。市営住宅のみならず、市が管理している公共施設の長寿命化と増減は、意見調整しながら実施していただきたい。
30	231	高度情報通信ネットワーク	電子申請の件数	件/年	289[H22]	500	909	373	1,658	順調	利用項目が増加したことにより、利用機会も増加したため、数値が緩やかに伸びた。	目標値を超える結果の維持に努める。	目標達成	現状に甘んじることなく、より高みを目指して今後も引き続き取り組んでほしい。

第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						結果の分析	今後の方針	備考	特記事項
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成24年度実績値(参考)	平成25年度		評価				
								目安値	実績値					
31	311	農業	認定農業者数	経営体	268 [H22]	310	270	285	269	遅れている	農業者の高齢化により、認定農業者を更新しない方がいるため、減少傾向である。	農業後継者等若い農業者へ認定農業者制度を理解してもらい、育成することで目標の達成を目指す。		地産地消の推進、遊休農地の解消、後継者不足への対応など、農業を巡る施策には課題が多くあるので、市が常に先取りして指導を行うなど、取り組みを進めていただきたい。
32			農業アシスタント数	人	20 [H22]	70	18	40	41	順調	平成25年より、野菜の講習会を新品目圃場で開催し、受講者数の増加につながっている。	様々な品目の講習会を開催し、受講者を増やす。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。また、アシスタントから新規就農者の増加につながるような施策を展開して欲しい。
33			農業法人数	法人	16 [H22]	20	21	18	22	順調	経営の安定化を図るため、法人化する農業者が増加している。	国の事業等を利用しながら、法人化を目指す農業者を支援する。	目標達成	農業振興のため、行政が積極的にかかわる中で、より高みを目指して、取り組んでもらいたい。
34			農畜産物産出額	億円/年	108 [H18]	110	データ入手不可能		データ入手不可能		(本項目は、国が市町村別の統計調査を行っていたが、平成18年度調査を最後に調査が行われなくなった。現在、全国市長会を通じて、国に対し、調査の復活の要望を行っている。)			
35	312	水産業	佐久鯉出荷量	t/年	110 [H22]	115	99	112	99	遅れている	以前に比べて需要が減少している。	料理教室などを開催し、佐久鯉の様々な調理をPRする中で、需要の拡大を図る。		佐久鯉の普及に当たっては、見た目や匂いで敬遠しないよう、PRや食べ方の工夫を行っていただきたい。
36	313	林業	森林整備面積	ha/年	610 [H22]	780	430	678	520	遅れている	平成24年度より森林整備に対する補助要件が厳しくなったため、目標とした面積に至らなかった。	市有林の整備を推進し、目標とする森林整備面積を達成させる。		市有林だけでなく、民有林の整備に対する支援を検討して欲しい。また、森林整備の防災面における効果に着目し、光が入らず、草も生えない状態の箇所の間伐を進めるとともに、限られた財源を有効に使えるよう、整備効果を踏まえた計画的な整備を進めていただきたい。
37	321	商業・サービス業	商品販売額	億円/年	1,994 [H19]	2,100	1,656	2,036	未公表	実績値なし	経済状況がデフレ傾向にあり平成19年から平成24年は販売額が17.0ポイント減となっている。平成26年には経済センサスが実施されることから調査結果を注視していきたい。	商品販売額は、平成9年から下落しており、目標値の達成は厳しい状況にあると思えるが、空き店舗対策に伴う補助金を平成26年度に創設し、空き店舗の解消に努め商店街の環境整備を図り商品販売額の増加を目指す。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。

第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						結果の分析	今後の方針	備考	特記事項
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成24年度実績値(参考)	平成25年度						
								目安値	実績値	評価				
38	331	観光	市内への延べ入込客数	万人/年	162 [H22]	190	152	173	148	遅れている	2月の豪雪により、新幹線等の交通網がマヒしたため観光客が大幅に減少した。	自然災害はやむを得ないことから、今後も誘客宣伝活動を積極的に行い効果的なPR活動を展開する。		来年は北陸新幹線延伸やG8サミットの軽井沢開催などの佐久市にとってのチャンス的一年であることを踏まえ、軽井沢への観光客を佐久市まで誘客できるよう、売り込みを強化していただきたい。
39	341	工業	製造品出荷額	億円/年	2,061 [H22]	2,500	1,703	2,237	集計中	実績値なし	製造品出荷額は現在集計中であるが、目標は達成していないと思われる。	さらに、企業立地の推進と、市内工業の活性化のため、各種事業を実施していく。		光る企業を探し、創業を支援することに注力し、今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。
40	351	就労・雇用	就職相談会参加者数	人/年	113 [H22]	130	73	120	110	遅れている	開催日の調整により、平成24年度に比べ、大幅に参加者が増加したが、目標は達成できなかった。	就職活動時期の変更などがあることから、実施時期の変更等の対応が必要		相談会の充実のほか、雇用してくれる企業の確保にも力を入れてほしい。
41			インターンシップ実施学生数	人/年	7 [H22]	15	6	10	8	やや遅れている	始まったばかりの事業のため、PRの効果などで、参加人数も増えてきたが、目標には達しなかった。今後についても、受入事業所及び参加学生へのPRが重要である。	受入事業所の登録数を増やし、参加する学生の選択の幅を広げていきたい。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						結果の分析	今後の方針	備考	特記事項
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成24年度実績値(参考)	平成25年度						
								目安値	実績値	評価				
42	411	福祉のまちづくり	福祉体験教室開催回数	回/年	14 [H22]	16	10	15	16	順調	多くの学校等に事業の目的を説明し、協力を得て体験教室を開催できた。	今後も多くの学校に事業の目的を説明し、体験教室を開催することによりボランティア意識の向上を図る。	目標達成	今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。
43	412	高齢者福祉・介護保険	介護予防事業の延べ参加者数	人/年	19,095 [H22]	23,500	20,000	20,857	23,781	順調	二次予防高齢者施策では、介護予防に対する保健師・看護師の訪問体制の充実、職員のアプローチ技術の向上により、該当者の介護予防の必要性について理解が得られやすくなったことから、介護予防ふれあいサロン事業の参加者が増加した。一般高齢者施策では、積極的なPRを地区サロンや広報等で行ったことに加え、現に参加者の満足度が高いことから、参加者を通じた口コミによる伝播により、各事業の参加者が増加した。	今後もこの水準を維持していきたい。	目標達成	今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。
44	413	障がい者福祉	相談支援事業実施事業所数	事業所	5 [H22]	20	11	11	12	順調	障がい者の福祉に関する様々な問題について相談に応じ、福祉サービス利用のための情報提供等を行う関係機関と支援会議を行うなかで、相談支援の充実が図られてきている。 【参考】平成25年度末、主たる障がい対象別相談支援事業所数 身体・知的・精神障がい8、知的障がい3、精神障がい1	相談支援事業所及び相談支援専門員等との連携協力するなかで、一人でも多くの相談支援専門員の資格取得をお願いし、障がい児(者)にとって必要な支援やサービスを提供し、満足度を高められるよう事業を実施していく。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。
45	414	母子父子福祉・低所得者福祉	高等技能訓練促進費・自立支援教育訓練給付金受給者数	人/年	4 [H22]	6	5	5	5	順調	広報への掲載回数を年1回から2回に増やし、制度の周知に努めたことにより、受給者数が順調に推移している。	母子家庭等の経済的な自立を支援するため、広報への掲載を適宜増やし、諸制度の周知と利用拡大を図る。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。



第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						結果の分析	今後の方針	備考	特記事項
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成24年度実績値(参考)	平成25年度						
								目安値	実績値	評価				
46	421	健康増進	びんころステーション延べ参加者数	人/年	1,715 [H22]	2,000	1,080	1,829	1,286	遅れている	野沢山門市は、観光客の方が多く市民が少ないため開催回数を減らした。また、冬季は戸外での開催のため、健康相談にふさわしくない環境であることから冬季の開催を減らした。平成25年度は保健補導員の全てのブロック研修14会場でびんころ食の試食を含めた栄養講話(びんころステーション)を実施し、研修で興味を持った補導員の方が地域でも企画をし、びんころステーションを行った回数が多かったため、増加したと考えられる。	市内全域で活動している食生活改善推進協議会や保健補導員などとタイアップするとともに、若い世代へは小中学校の給食を介しながら、市内全域、さまざまな世代へびんころ食を通じた食育活動の拡大を図り、びんころステーションの開催数を伸ばしていく。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。
47			3歳児のむし歯保有率	%	26.71 [H22]	20.00	20.89	24	25.12	やや遅れている	むし歯判定の基準について、長野県の通知により平成25年度から「サホライド塗布歯」の扱いを、サホライド塗布の有無ではなく、脱灰の有無により判定をすることとなったためと考えられる。	子どもの歯の教室や公民館主催の乳幼児学級、子育て支援課主催の子育てサロンなど、親子で参加する機会を活用し、歯科衛生士による歯予防のための歯科指導を行い、むし歯保有率の減少を図る。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。
48	422	保健活動	メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合	%	25.2 [H22]	15.2	26.6	21	集計中	実績値なし	現在集計中であるが、平成26年9月4日時点での速報値は25.4%となっていることから、割合は大きく変化していないものと思われる。	医療機関との連携を図るとともに、特定保健指導や結果報告会での指導においては、フードモデルや手づくりの教材を使用することで、市民が自らの生活習慣の改善がイメージしやすい保健指導を心掛ける。また、保健指導を行う者についても、研修会に積極的に参加し、月1回の学習会で事例検討や国の動向、佐久市の現状等を把握し、スキルアップを図っていく。		
49	423	医療	浅間総合病院第二次整備事業進捗率	%	0 [H22]	100	5	40	7.00	遅れている	国の交付金事業である地方都市リノベーション事業採択のため、事業スケジュールを変更したことにより当初計画と比べ事業進捗が遅れている。	H29.3新中央棟開院という新たな事業スケジュールの管理を徹底するため、工事受注事業者との綿密な打合せにより、事業進捗を図る。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。
50	424	医療保険・国民年金	国民健康保険税収納率(現年課税分)	%	90.26 [H22]	100	92	94	93.48	概ね順調	督促・催告状の発送・臨戸訪問・全職員での滞納整理による税収の増、未申告者への申告勧奨での適正賦課	督促・催告書の送付及び臨戸訪問、全職員での滞納整理、未申告者への申告勧奨を行う。国保税を中心とする専任徴収員の配置を検討する。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。専任徴収員の配置については、単に検討に留まらず、ぜひ実現して欲しい。

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						結果の分析	今後の方針	備考	特記事項
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成24年度実績値(参考)	平成25年度						
								目安値	実績値	評価				
51	431	母子保健	こんにちは赤ちゃん事業における新生児訪問率	%	96 [H22]	100	98	98	98.00	順調	母子手帳交付時、パパママ教室時、出産での入院時、出生届出時等の機会に訪問についての説明を実施しているほか、出生届出時に配布する赤ちゃん手帳へ記載をしているため、赤ちゃんが生まれれば、保健師・助産師による訪問を受けるものだという意識が浸透していると思われる。	生後4か月以内に訪問できるよう、母子手帳交付時、パパママ教室時、出産での入院時、出生届出時等の機会に対象者全員に必要性を丁寧に説明していく。また、訪問不要の方については、その理由についてアセスメントし、対策を講じていく。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。
52	432	子育て支援・児童福祉	子育てサロンの延べ利用者数	人/年	7,908 [H22]	8,300	8,753	8,065	8,857	順調	育児講座や親子遊びの充実により利用者数が増加した。	育児不安の軽減を図るため、利用者アンケート結果や要望等についてスタッフ会議で検討し、事業に反映する。	目標達成	今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。
53	つどいの広場の延べ利用者数		人/年	15,099 [H22]	15,800	14,370	15,379	14,206	遅れている	大雪の影響で開催日数が減少し、昨年度より参加者数が若干減少した。(H24:628回→H25:614回、14回減)	・参加者の要望が多い「リトミック」を平成26年度から実施し、また、ベビーマッサージについては、乳児の参加が少なかったことから、幼児まで範囲を広げ、「ベビー・キッズマッサージ」として実施するなど、参加者からのアンケート調査を基に改善点についてスタッフ会議で検討し、参加者の増加を図る。 ・子育てサークル等の活動実態を把握し、場所を提供するなどの活動支援を行う。 ・県と連携し、仕事に対する不安や悩みを抱えた子育て世帯の女性に対して相談支援を行う。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。	
54	児童館の延べ利用者数		人/年	303,975 [H22]	319,000	280,265	309,985	273,510	遅れている	児童館の減少に加え、各児童館で開催されるイベント等の内容や開催回数を利用者の希望に必ずしもマッチしていなかったことが、利用者数の減少につながったと思われる。魅力あふれる児童館づくりを行うことが課題であると考え。	平成25年度の養護学校児童生徒の受入実績がないことから、養護学校PTAとの懇談会において保護者の希望等をお聞きし、児童館の受入体制等について検討を進める。また、児童に行事の企画に参加してもらうなど利用者が継続的に楽しく来館できるように工夫を図るとともに、児童館の職員の質を向上させ、保護者が安心して子どもを児童館に通わせられる環境を整える。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。特に、児童館ごとの利用者の分析により、適正な受入体制を整備して欲しい。	

第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移							結果の分析	今後の方針	備考	特記事項
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成24年度実績値(参考)	平成25年度			評価				
								目安値	実績値						
55	511	環境保全	市内家庭の総消費電力	Mkw/年	239,143 [H22]	191,315	234,346	215,230	232,069	やや遅れている	省エネやクールシェア・ウォームシェアについての広報により、市民においても省エネ行動は意識されていると考えられるが、近年の異常な暑さや、積雪量の増加などもあり、生活習慣の中で必要なエネルギー使用量が一定化されてきている。	近年の異常な暑さや、積雪量の増加なども勘案しつつ、市の広報やホームページ、FM放送などにより周知を強化するとともに、省エネ住宅・省エネ機器の導入促進につながる助成などを検討していく。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。	
56	512	街並み緑化・公園・景観形成	平尾山公園の入場者数	人/年	411,947 [H22]	420,000	386,238	415,168	348,927	遅れている	夏場における猛暑、2月の大雪とそれに伴う高速道路の通行止め及び高速道路料金割引制度の変更等の社会情勢の影響を受けたため、平尾山公園の入場者の減少が見られた。H21から公園の入場者が減少する中、25年度の昆虫体験学習館の入場者が夏季に限ると700人程増えている。	公園利用者の増加を図るため、公園のイベント、企画展等に対するニーズの把握に努め、より効果的な企画を実施するように、公園管理を行っている指定管理者と協議をする。また、公園開設から約20年が経過し、施設の老朽化が見られることから、公園施設長寿命化計画に基づき施設の更新を順次行う。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。	
57			都市公園の整備面積	m <sup>2</sup> /人	7.94 [H22]	9.82	8	9	8.49	概ね順調	市民交流ひろばの開園、佐久総合運動公園補助競技場等の整備により公園面積は増加している。	佐久総合運動公園の整備を計画どおり進めていく。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。	
58	521	環境衛生	家庭系ごみの排出量	t/年	21,384 [H21]	19,591	20,297	20,667	19,621	順調	資源物が減量している一方、分別不足により可燃・埋立ごみは増加している。	市民に対し可燃・埋立ごみの分別徹底を啓発強化し呼びかける。	目標達成	今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。	
59			事業系ごみの排出量	t/年	5,296 [H21]	4,670	5,754	5,046	5,705	遅れている	資源物・可燃ごみ共に分別不足により増加している。	事業所によるごみの排出計画書の提出時や事業系ごみ袋の購入の際に、窓口でごみの減量・分別徹底を啓発したり、ごみの資源化により排出量を減らすよう指導するなど、啓発を強化する。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。	
60	522	上水道	上水道有収率	%	84.0 [H22]	90.0	84.2	86	83.7	遅れている	平成25年度は83.7%となり、前年度と比較して0.5ポイント下回り、施設の老朽化等による漏水量の増加が考えられる。	水資源を有効に活用するため、マッピングシステムを用いて有収水量や配水量を的確に把握するとともに、漏水調査を継続的に実施する。また、配水管網全体のうち、耐用年数を超過しているものは残り17.8%(佐久水道企業団管内の集計)となり老朽管の更新事業を進めているが、老朽化した給水装置からの漏水が多いとも考えられることから、これらの給水装置の更新を促進する。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。	
61			水源余裕率	%	16.2 [H22]	22.0	16.9	19	16.4	遅れている	新規水源の開発や節水の呼びかけ等の配水量の減少に資する取り組みを行っているが、いずれも大きな変化が見られず、水源余裕率はほぼ横ばいの推移となった。	将来に向け安定した水の供給を維持していくため、今後も継続的に新規水源開発事業に取り組む。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。	

第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						結果の分析	今後の方針	備考	特記事項
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成24年度実績値(参考)	平成25年度						
								目安値	実績値	評価				
62	523	下水道	下水道整備面積	ha	2,931 [H22]	3,032	2,946	2,971	2,952.8	やや遅れている	平成25年度は西屋敷地区、荒宿地区など6.52haの整備を計画的に行い、整備面積は増加している。	財政面も含めて未整備地区の優先順位を考慮し、整備促進を図っていく。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。
63	水洗化率		%	86.9 [H22]	90.9	89.5	89	90.6	順調	消費税増税の要因によって新規下水道接続件数が増加したと考えられる。	公共下水道区域の未接続世帯を対象に個別訪問を実施し、水洗化の促進を図る。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでももらいたい。	
64	下水道使用料収納率(現年分)		%	96.8 [H22]	100	97	98	97.0	やや遅れている	口座振替の利用の依頼により、96.8%(24年度末)から97.6%に利用率が伸び、また未納者に対する訪問や催告通知など滞納整理の強化を行ったものの、平成25年度は年度末(2月)の大雪が影響し、交通に支障が生じたため、この時期の収納率が低下。翌年度収入にずれ込んでしまったことにより、現年度分下水道使用料収納率が目標値に若干達しなかった。	口座振替を推進するため、現金納付者の納入通知書すべてに推進チラシ及び口座振替依頼書を同封。また、滞納処分を視野にいたした滞納整理強化を検討する。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。	

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						結果の分析	今後の方針	備考	特記事項
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成24年度実績値(参考)	平成25年度						
								目安値	実績値	評価				
65	611	防災	自主防災組織設置区数	区	230 [H22]	239	232	234	233	概ね順調	地域での会合に出向き、地域防災力を訴えた結果が表れたと感じている。	自主防災組織を現実的に設置できない地域への対応策を区長と相談し、安全・安心へ繋げる取り組みを図る。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。
66			地域自主防災訓練実施区数	区	143 [H22]	239	134	181	122	遅れている	平成25年度は、中込地区が佐久市総合防災訓練の参加に代えたこともあり下降したが、全体で見ると上がってきている。	これまでは、組織編成だけに留まっていたが、新規に訓練に取り組みを始めた地域も微増している。いつくるかわからない備えではなく、いつか必ず来る備えに地域防災への高揚を図る。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。なお、訓練実施区数の算定に当たっては、地域の実情を考慮したものとして欲しい。
67	612	消防・救急	消防団協力事業所数	事業所	57 [H22]	100	93	74	96	順調	協力事業所に対する県税の優遇制度・佐久市の入札優遇制度の効果や、災害時における消防団の重要性が広く理解されてきていることが順調な推移につながったと考えられる。	今後も引き続き消防団協力事業所の募集を呼び掛けていく。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。
68			火災発生件数	件/年	61 [H22]	25	64	47	43	順調	火災予防のピラ配布、独居老人への火災予防訪問、気象乾燥時の野焼注意の広報等の予防消防活動により、住民の火災に対する注意が高まったことが発生件数の減少につながったと考えられる。	火災発生件数は年度により一律な減少とはいかないが、目標値に向けて予防消防活動を行っている。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。
69	613	交通安全	交通安全大会、各種講習会などの延べ参加者数	人/年	10,442 [H22]	16,000	15,563	12,665	11,068	やや遅れている	実施回数は前年比増加しているものの、参加者数に減少が見られた。	交通安全市民大会、各種講習会等の開催要請を、関係機関団体に行い、教育啓発活動を推進する。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。
70	614	防犯	犯罪発生件数	件/年	1,079 [H22]	835	872	981	933	順調	昨年より件数は増えているが、全体的に減少傾向である。しかし、年々巧妙化する、振り込め詐欺を代表とする特殊詐欺事件が増加している。	夜間の犯罪防止のための防犯灯設置をはじめ、地域が一体となった防犯体制及び活動の更なる充実を図る。		厳密には、犯罪の発生は0件にならないと順調とは言えないと考える。さらなる努力を期待する。
71	615	消費生活	消費生活展、街頭啓発、講習会などの実施回数	回/年	35 [H22]	60	26	45	31	遅れている	老人クラブ対象の講習会が、全クラブ中、半数に留まっていることから、達成できなかった。	市内全老人クラブによる講習会の開催協力を要請する。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						結果の分析	今後の方針	備考	特記事項
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成24年度実績値(参考)	平成25年度						
								目安値	実績値	評価				
72	621	協働のまちづくり	佐久市市民活動サポートセンター登録団体数	団体	- [H22]	300	97	120	120	順調	登録団体増加のための広報活動を行ったため、登録団体数が増加した。	登録団体を増やすため、ホームページ、機関紙などを活用し、広く告知する。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。
73			佐久市まちづくり活動支援金事業を活用する団体数	団体/年	- [H22]	10	6	4	1	やや遅れている	佐久市まちづくり活動支援金が利用されにくい制度であったため、登録団体数が減少した。	平成25年度に利用しやすくなるよう、制度の見直しを行った。今後は、まちづくり支援金の認知度を高めるため、積極的なPRを行う。		来年度以降で遅れを取り戻せるよう、今後の方針を踏まえて取り組みを進めてもらいたい。
74	621	協働のまちづくり	各審議会など全体公募委員割合	%	3.2 [H22]	10.0	5.4	6	5.4	概ね順調	市民参加型市政の推進により、市民の関心が高まっているが、認知度が低いため、応募は平成24年度と同じ数となった。	審議会等委員の公募PR等を行い、各審議会などへの市民公募委員割合の拡大に努める。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。
75	622	コミュニティの育成	区への加入率	%	87.57 [H22]	90.00	86.77	89	86.30	遅れている	都市化の進展と共に、区への加入率も低下しており、共助の精神は希薄化する傾向にある。	魅力あるコミュニティ活動を支援するため、区の活動費等に対して交付金を交付する。また、新たな連携の方法についても模索していく。		加入率が低い状態では、区の中で行われる災害時の助け合いにも支障が出るので、加入を増やすような策を検討していただきたい。
76	623	公共施設	新規指定管理者制度導入施設数	施設/年	1 [H22]	1	3	1	1	順調	市民交流ひろば(公園緑地課所管)の開園に伴い、新規で1件導入した。他の施設については、平成25年度において導入する施設はなかった。	指定管理者制度を導入することが効果的であると判断される施設については、各課と調整し、導入に向けた調整を行っている。	目標達成	今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。
77	624	行財政	市税込納率(現年課税分)	%	97.25 [H22]	100	97.86	98.30	98.26	概ね順調	差押処分の強化により、概ね順調な結果となった。	引き続き差押などの滞納処分を強化していく。		今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。
78	625	広域連携	定住自立圏による事業実施数	事業	- [H22]	25	31	10	32	順調	具体的な取り組みの開始から2年目を迎え、制度がより浸透したことにより、事業実施数が増えたものと考えられる。	引き続き関係市町村との連携・協力を図り、定住自立圏による事業を推進していく。	目標達成	今後も引き続き目標達成に向けて取り組んでもらいたい。